



食品衛生法施行規則の改正に係る答申について (生食用食肉の表示基準の追加)

平成23年8月31日
内閣府消費者委員会事務局

平成23年8月24日付けの内閣総理大臣からの諮問のあった、食品衛生法施行規則の改正については消費者委員会食品表示部会で審議を行い、平成23年8月24日の第13回食品表示部会で結論が得られたことを受けて、本日付けで消費者委員会委員長より答申を行った。

1. 上記諮問に関して行われた第13回食品表示部会までにおける審議内容は以下の通り。

食品衛生法施行規則の改正

- ・ 諮問された改正案で、生食用食肉の表示基準を追加することについて、その案のとおり改正することが適当であるとされた。

2. 第13回食品表示部会において結論が得られた上記の食品衛生法施行規則の改正については、本日、消費者委員会委員長から以下を内容とする答申が行われた。

食品衛生法施行規則の改正

- ・ 諮問された改正案について、その案(別添資料1)のとおり改正することが適当である。

別添資料1：食品衛生法施行規則 新旧対照表(案)

【本件問い合わせ先】内閣府 消費者委員会事務局

担当：森繁・山田

電話：03-3507-9945

FAX：03-3507-9989

食品衛生法施行規則 新旧対照表（案）

（傍線の部分は改正部分）

一部改正案	現行
<p>第二十一条 別表第三に定める食品又は添加物であつて販売の用に供するものの表示の基準は、次のとおりとする。</p> <p>一 次に掲げる事項を容器包装（容器包装が小売のために包装されている場合は、当該包装。第五項から第八項まで、第十六項及び第十九項において同じ。）を開かないでも容易に見ることができるように当該容器包装又は包装の見やすい場所に記載すること。</p> <p>イ ツ （略）</p> <p>ネ 牛の食肉（内臓を除く。）であつて生食用のものにあつては、次の(1)から(5)に掲げる事項</p> <p>(1) 生食用である旨</p> <p>(2) とさつ又は解体が行われたと畜場の所在する都道府県名（輸入品にあつては、原産国名）並びに当該と畜場の名称及びと畜場である旨</p> <p>(3) 法第十一条第一項の規定に基づく生食用食肉の加工基準に適合する方法で加工が行われた施設（以下この項において「加工施設」という。）の所在する都道府県名（輸入品にあつては、原産国名）並びに当該加工施設の名称及び加工施設である旨</p> <p>(4) 一般的に食肉の生食は食中毒のリスクがある旨</p> <p>(5) 子ども、高齢者その他食中毒に対する抵抗力の弱い者は食肉の生食を控えるべき旨</p>	<p>第二十一条 別表第三に定める食品又は添加物であつて販売の用に供するものの表示の基準は、次のとおりとする。</p> <p>一 次に掲げる事項を容器包装（容器包装が小売のために包装されている場合は、当該包装。第五項から第八項まで、第十六項及び第十九項において同じ。）を開かないでも容易に見ることができるように当該容器包装又は包装の見やすい場所に記載すること。</p> <p>イ ツ （略）</p>

ナモ (略)

二五 (略)

六 別表第三第十五号に掲げる食品にあつては、次の(1)及び(2)に掲げる事項を店舗の見やすい箇所に表示すること。

(1) 一般的に食肉の生食は食中毒のリスクがある旨

(2) 子ども、高齢者その他食中毒に対する抵抗力の弱い者は食肉の生食を控えるべき旨

219 (略)

別表第一二 (略)

別表第三

一十四 (略)

十五 牛の食肉(内臓を除く。)であつて生食用のもの(容器包装に入れられたものを除く。)

別表第四十七 (略)

ネヒ (略)

二五 (略)

219 (略)

別表第一二 (略)

別表第三

一十四 (略)

別表第四十七 (略)